

(別紙4(2))

事業所名 きらく荘 グループホーム

目標達成計画書

作成日: 平成 28 年 1 月 12 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくなるよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	自己番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議を活かした取り組み	会議は参加委員の協力で充実してきたので、ホームの運営に反映させて、参加者にとっても、役に立つ会議として、知識や情報を習得し、参加することが楽しみになるように取り組んでいく。	会議の委員を増員し、ホームの運営だけでなく、地域の高齢化の課題や、取り組みを参加委員と話し合い、地域密着型グループホームとして、地域福祉に貢献できるように参加委員と一緒に取り組んでいく。	12ヶ月
2		医療連携体制の強化	ホームドクターによる往診体制を確立し、24時間安心して医療受診が出来る体制を整え、利用者や家族が、安心して任せられる医療、介護の充実に取り組んでいく。	職員間で「看取り介護」について話し合い、ホームで出来る支援を、利用者や家族に説明し、利用者の終末期が、ホームの中で、安心して暮らせるように支援できる体制を目指していく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。